

広報 ながはま 6月号



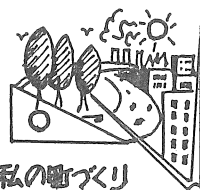
「モデルチェンツが激しくてそれについてゆくのが一生涯懸命ですな」と、これがこの道四十四年、このベテランの笑えぬ唯一の苦分話。

武田惟常さん五十八歳、下須戒自動車整備士。

フールド、シボレーといった外車くらいで、まだ地方では国産車にはめぐったにお目にかかれなかつた当時、大和尋常高等小学校を卒業するや何よりも好きな自動車に

あこがれて大阪の整備工場へ就職、軍隊でもその技術が起用されて車両の整備士に、そしてこの町で三十年。

「最近の若者は、こんな油で汚れる仕事はききわって長く続かん。技術を学ぶことより月給の方がかまんとしとる。今や車などは進まん時代、自動車整備は時代の先端をゆく技術仕事、もっと誇りをもってほしいね」とスバリ、この道への自信とプライドが書いてくる。



私の町づくり

私は、長浜青年団に入団して半年たった今、執行部八名、運営委員八名そして監事二名で構成されている町連合青年団の副団長として活動しています。

入団して、自分の役を受けもった以上、まず自分に与えられた役に精一ぱい取り組むことが大切だと思います。私たちの町には、青年団活動に対して無関心、無気力、無責任の人が多いいのではないのでしょうか。私が団活動をしている中で感じていることは、長浜青年団には郷土芸能である伝統的なものが受け継がれていないということです。

生きがいある青年団活動を



細川 静枝
(21才)
長浜・会社員

団には豊年踊りがあるように、中心地である長浜にも何か一つ打ち込める物を持っていてはどうでしょうか。私たちが打ち込めるもの、やっているんだと感じられるもの、つまり団活動での生きがいがあればよいと思います。

青春。一生の土台を築く時代。今この時代に何かをつかまなければならぬと思います。やる気、作る喜び、この土台があれば奉仕活動においても素晴らしい町ができるのではないのでしょうか。どんな小さな活動にでも価値があると思えます。団活動を通していく上で、友情と信頼が生まれ、また、みんなが参加して力を一つに団結してこそ、長浜町を愛する温かい心も出てくると思います。私たちが住んでいる町である以上一人一人の積極的な協力が必要であり、それをする事によってそれぞれの人格を高めることになると思えます。たった一度しかない自分の青春、人生を自分に納得できるように主張し、奉仕活動を楽しめるものにし、また、それを愛し、豊かな町づくりに努め、そこに誇りと喜びを見出し、つねに最善をつくしていかなければならないと思えます。

税金が戻ってきます

このほど、昭和五十一年分所得税の特別減税が行われ、次の金額が還付されることになりました。

還付される金額は、本人は六千円、控除対象配偶者や扶養親族は一人につき三千円として計算した金額です。ただし、納めた昭和五十一年分の所得税額の方が少ないときは、その税額までとなりません。

還付方法とその手続は次の通りです。

△サラリーマンの場合▽

本年六月一日現在において昨年と同じ会社に勤務しているサラリーマンは、おおよそ、六月～七月ごろ、賞与や給与を受取るときに、勤務先から還付されます。

△事業所得者などの場合▽

事業所得者など確定申告をして納税した人は、六月下旬ごろに税務署から還付を受けられる金額をお知らせします。その際、同封された還付請求書に、所要の事項を記入して、税務署に返送してください。そうすると、税務署から還付金の支払通知書が送られてきますから、この支払通知書によって郵便局で還付金を受取るようになります。

△その他▽

給与の税金を源泉徴収で納め、年末調整を受けているが、今年になって五月末までに退職した人や、昨年中途で退職したなどのため、給与の税金を源泉徴収された

増田助役が退職



長浜町行政の生き字引的存在で西田町政および菊地町政の女房役として一四四年間を補佐してこられた増田晴茂助役(五十八才)は、任期の五月七日をもって助役の職を退かれました。もとより菊地町長はじめ周囲の人々から留任が望まれていたわけですが、健康上など種々の都合により

その意志は堅く、退職に至ったものです。

増田さんは、昭和二十二年に旧大和村役場に助役として奉職いらい約三十年間、地方自治のしごと一すじに勤めてこられた方で、本町合併後は長浜町役場で、税務課長、総務課長を歴任、昭和四十八年に大野豊助役の後を継いで現在に至っていらしたものです。

退職後は一町民として過ごされるというのですが、今後は行政上のよきアドバイザーとして活躍頂きたいものです。

印紙税額引上げ

5月1日から

このたび印紙税法が改正され、この五月一日から印紙税額などが改められました。おもな改正点は次の通りですが、具体的な額については多様なため紹介できませんので最寄りの税務署へお尋ねください。

◎今まで五十円の印紙税が課せられていた文書は、すべて百円の印紙税が課せられることになりました。



課税されている文書の税率は、それぞれ二倍に引き上げられます。

◎土地売買契約書、請負契約書、手形、売上代金の受取書など金額に応じて課税される文書のうち、高額のものについての印紙税額が引上げられました。

◎売上代金の受取書のうち、受取金額の記載のある文書を引用しているものなどは、たとえ受取書に金額が記載されていなくても、その引用した金額と同じ金額が記載されているものとしてその金額に応じた印紙税がかかることになりました。

◎一定の書式を表示することによる印紙税を申告納付することができる文書に、賃貸借契約書などが追加されました。



議会

臨時会 第一回

長浜町議会第一回臨時会が五月四日に開かれ条例改正案、請負契約承認案件など六議案を原案通り可決、陳情文書一件を採択しました。可決されたことのおもなものの内容は次の通り。

国保税三〇・一％引上げ

課税限度は17万円

「長浜町国民健康保険条例」の一部が改正され、五十二年度の国民健康保険税額が三〇・一％引

住吉公園など

桜や藤荒らされる

ナタで数本、ドリルでも

山道の朝の散歩を楽しむ人や樹木愛好者などから最近「桜の木が荒らされている」という声があるため、町(商工課)でさっそく現地を調査した結果、長浜の住吉公園の上部付近で幹回り直径十二センチもある桜の成木のほか直径四センチから六センチの桜が数本、ナタのようなもので切り倒されていました。これらはいずれもつぼみがほころぶる前に切り倒されたものと見られ、それだけになおさら痛ましく感じられました。また、同公園の藤だなの藤の幹も刃物で削り込まれて切断寸前の状態になってい

す。一方、長浜の水場地区付近では



穴をあけられたり切り倒された藤や幹をけずり取られた

上げられることになり税率ではこれまで五千円であった均等割額が六千五百円に、八千円であった平等割額が一万円に上げられることになりました。

また、これまで十五万円であった課税の最高限度額が十七万円に引上げられました。(※ページに引上げの理由など関連記事を掲載)

門田氏を再任

収入役に

五月七日で任期満了となる門田博収入役の後任に、町長は同氏を



再任された収入役 門田博

選任、議会の同意を求めた結果万場一致で同意され再選任されました。門田収入役は昭和四十四年に当町の西田町政で初めて同職に選任されていらい三期目。五十七歳。

喜多灘小プール新設工事などの請負契約を承認

昭和五十二年度の喜多灘小学校プール新設工事を千六百五十万円、昭和五十二年の沖浦漁港改修工事を二千七百七十万円、いずれも大洲市の株式会社・西田興産と、また昭和五十二年の櫛生漁港局部改良工事を千五百万円、櫛生の株式会社・清水建設と、それぞれ請負契約を結ぶことが承認されました。

新区長151人決まる

会長に明関さん

任期満了にともなう昭和五十二年と五十三年度の二か年間を



新区長 明関さん

明関区長は、長ければならないことが多いようです。したがってこれらを区長ひとりではこなしてゆくことは極めて困難なことであり、皆

柴公営住宅改築についての陳情文書を採択

柴地区の窪昭一さんほか二百十人の方から提出されていた柴公営住宅改築についての陳情文書が採択され、理事者に送付されることになりました。

担当する新しい区長百五十一人が出そろい、町では四月一日付で委嘱状を交付しました。

区長は非常勤の公務員として①町の行政事務の中で必要なことの周知②町行政上必要な公正な民意の取りまとめや進言③町の徴収金④その他町長および町の行政機関が依頼する事務の処理などに關することがおもな職務ですが、このほかにも地区住民のお世話役として種々の仕事を合わせて行わなければならないことが多いようです。したがってこれらを区長ひとりではこなしてゆくことは極めて困難なことであり、皆

さんのより一層のご協力が望まれます。

なお、新区長が出そろった区長会では、区長会本部役員会において本部役員を次の通り決めました
会長 明関定市(長浜)
副会長 上田秋義(今坊) 高田軍次郎(櫛生)
事務局 長 城戸岡政雄(長浜)
会計 丸山米三郎(長浜)
支部長 長浜 渡辺繁(今坊) 上田秋義(櫛生) 高田軍次郎(出海) 畑山鶴夫(大和) 森岡賢(豊茂) 小西考夫(白滝) 児玉徳五郎

理事 長浜 渡辺繁、池内定男、森茂夫、石住卯市、鎌田次郎、徳本岩藏、菊地進、世ノ下弘俊(今坊) 青木近夫(櫛生) 石山勝行、沢井義兼、高屋信子(出海) 畑山鶴夫、酒城茂基(大和) 森岡賢、込岡(豊茂) 小西考夫、二宮邦(白滝) 児玉徳五郎、徳田平八郎、窪昭一、平井豊秋 監事 平田三盛(出海) 武知政繁(白滝)

週辺のムダ

日常生活の中で、気付かないままにいろいろなムダをしていますが、まずテレビのつけっ放し。朝は時計代わりにつけている場合がありませんが、一日に平均三十分節約すると、20型カラーテレビで一か月に約二キロワットの節約ができるといわれています。

豆ちしき

身辺でうっかりムダをしていることは多いもの。もう一度周囲を見直しましょう。

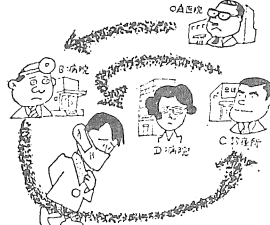
族だと約三百三十六リットル、石油カンで約十八はいの水を流した計算になります。ふろの場合も必要な水の量だけ、夏は午前中に、冬は入浴する直前に汲む(いずれも水温の関係)こと。

また、ガスコンロの火も鍋からはみ出さず、遊ばせないなど、ルーズな使い方をしないことが肝要です。

受診率の増大 医療費アップが主因

国保税引上げを考える

今年度は長浜町の国民健康保険税額を三〇・一割、税率にして均等割額五千元を六千五百円に、平等割額八千円を一万円に引上げなければならぬ。なかりました。



やたらに医者をかえないよう

これは医療費の引上げや受診率の増大、長期療養者（高額療養者）の増加などにより、これまでの予算ではまかなえ切れなくなつたため、独立採算というたてまえ上、税金によって補うより方法がないためです。

国民健康保険に加入されている方が医療を受けた場合の医療費は三割を加え、残りの七割の内四・五割は国の補助金と交付金で、そして二・五割は町内の加入者の方が納める税金で支払われています。ところが、このように医療費が引上げられ受診率が增大しても七割の内四・五割を頼る国の補助金・交付金の給付率は変わら

心かげよう早期発見・早期治療
やめよう乱診・乱用

町内の加入者の方が納める税金で支払われています。ところが、このように医療費が引上げられ受診率が增大しても七割の内四・五割を頼る国の補助金・交付金の給付率は変わら

ないため増大分をまかなうには不十分で結局、国民健康保険税の引上げにより財源を確保してまかなうよりほかないわけです。

このような状態は今に始つたことではなく、五十一年度は苦しいながらも繰越金などがあつたことにより何とか引上げをしなくても切り抜けられる見込みとなつてい

ゆくこと。そのためには、病気の早期発見と治療に努めること、健康な体づくり、節度ある生活に努め治療より予防を、薬の乱用をやめ一つの病気でやたらに医者を交わらないこと一などの点をみんなが心がけることが望まれます。

また、お年寄りの医療費が無料ということについても、それは医療費がいらぬというわけではなくて、本人に代わって皆さんが納めた税金で支払うということですから、お年寄りの家族や他の加入者に回つてくるというわけですからそのシステムについてもよく認識され、正しい受診で安い保険料を制づくりに努めようではありませんか。

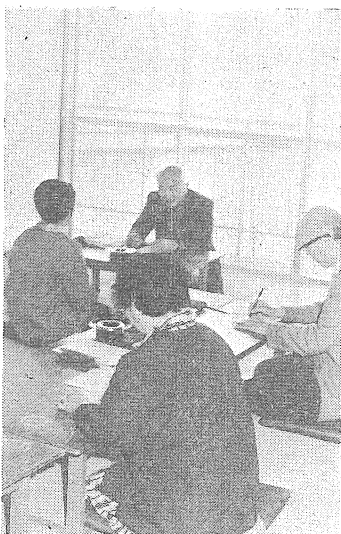
51年度 64%がその場で解決

ご利用ください (心配ごと相談)

長浜町社会福祉協議会では、町内の皆さんに少しでも明るくすくして頂くため毎月十日、二十日、三十日に（この日が日曜日や祝日になる場合はその翌日）長浜のフイッシングセンターで「心配ごと相談所」を開設、いろいろな心配ごとの相談に応じています。

秘密は堅く守られます。明るい生活をおくるため、どうぞお気軽にご利用ください。

時間：午前九時から午後三時
相談に応じる人：民生委員、人権擁護委員、弁護士



相談委員はその人の身になって親切に相談に応じています

ところで五十一年度中の心配ごと相談の結果をみますと、全部で七十五件もの相談に応じており、そのうち四十八件（六四

）が相談所内で解決、四件が継続審議となつているほか、残り十三件は他の機関に紹介して解決を図っています。

内容別の相談件数を見てみますと財産関係の二十八件を最高に事故関係六件、法律関係五件、住宅関係五件、離婚関係五件、苦情関係四件、人権関係三件、家族関係

表彰***

小西さんら56人

第9回シイタケ共進会で

第九回長浜町シイタケ共進会が五月六日、長浜町体育館で開かれました。

ことは、町内のシイタケ生産者百九十九世帯からこうしんの部



どんこの部で特賞に輝いた藤田坂喜さんのシイタケ (中央)

木の部で五十二点と、昨年より総数で十七点少ない二百八十三点の出品があり、このうちから次の方々の産品が入賞、同会表彰式の席上、同会会長から表彰されました。

こうしんの部入賞 (二十一点)
〔特賞〕 楠野マサ子 (豊茂)

行政相談委員に
宮本さん再任



宮本幹之 進さん (七四・長浜二区) が行政相談委員にこの四月一日付で再任されました。

行政相談委員は国の行政運営に関する苦情などを受け、それに対して助言、あるいは関係行政機関に連絡して解決をはかることがおまなしことです。

この制度は昭和三十六年に設けられ、委員は行政管理庁長官から委嘱され、任期は二年。宮本さんは昭和四十一年度に初めて同委員に委嘱されていらる再任を重ね、今年度は十二年目。

で八十点、この部の部で三十三点、どんこの部で百十八点、ほど



「日本のエビネが1番美しい」と語る水口さん(水口さんの「日本えびね園」=須沢で)

ホホー!

「エビネラン」といえば「ああ水口さんか」というイメージは今や全国的スケールのもので、とっても過言ではない日本一のエビネ園主。四月下旬から五月上旬

50アールに数十万本彩る

エビネ栽培 日本一 水口 健さん (須沢)

の開花期には付近の山林三か所、合わせて五十アールに数十万本ものエビネが咲き乱れ、美しい花園をつくる。

「この春には京都からバス貸し切りで来たところもありました」というように、開花期の水口エビネ園こと「日本エビネ園」は毎年数百人、県外からでも百人は下らない観ラン者が訪れるばかりか、エビネを始めて十年という今や全国のエビネマニアとの通信交換は約三千人におよび、とくに開花期前後にはその対応に追われるという。そんなことから、かつては年に四、五会場へ出向いて楽しんでもらっていたという「エビネ展」も最近では極力少くし自園の

無料開園と水口さんを中心とする近隣(郡内)の愛好者二十人、去年結成された「大阪の川えびね会」による大丸百貨店のエビネ展に押え

ているという。同百貨店や多くのエビネマニアの要請を受けて開くその大丸での第二回展も四月二十一日から七日間開かれ大盛況をおさめ「会を重ねるたびに都会でも驚くほどエビネマニアがふえ、すごい人気です」と満足気。八年ほど前には皇居のエビネのお世話役にお呼びがかかり二年間

ほど勤めたこともあり、とりわけエビネの愛好家であるという秩父宮様ともエビネがとりもつ友人同様の付き合い合いだというほど。また皇族・松平家の葬儀に水口さんのエビネ二千本の所望を受けたこともあるとか。

エビネの品種は十七、色分け別では大まかに分けても約二百五十種におよぶほど多彩だという。水口さんの園にその全部があるということではない。なぜかを問うと「その土地の風土になじまないものを無理にもつてくることはエビネにとって残酷です」と返答が返ってくる。また「肥料は手

その水口さんとエビネの結びつきのかげは、当初手掛けていた洋ランのことで九州を訪れたとき、次々と伐採されてゆく原生林の中で荒らされ枯死してゆくエビネランを見て「これではいけない、何とかしなくては」と、滅びゆくエビネを救う気持からだという。「色や形が多彩で自然性が豊かであり神秘的。それに何よりも育てやすいですね」というその魅力のとりこになっていらぬ南は沖縄県、北は北海道までの山中はいうまでもなく、遠くはフイリピンのミンダナオ島までも、まだ見ぬエビネを求めて行ったこともあったほどの凝りようである。たゞヒマラヤのエビネを目ざして準備中とか。

「一人でも多くの方に見ってもらいたいというのが一番の喜びです」という通り入園料や入場料はいつの場合も無料という。ちょうど取材訪問のその日は「近くの若者の結婚式場に飾ってあげるんです」とつい先日盛りを越えればかりという色とりどりのエビネが花びんいっぱい飾られているところだった。

- (一等賞) 上田虎雄(豊茂) 中野修身(戒川) 徳山峰子(柴)
- (二等賞) 加納勝利(須沢) 渡辺恭一、藤田純雄(いずれも豊茂)
- (三等賞) 菊地吉太郎(榊生) 水沼千恵(出海) 武地喜佐雄、富田利好(いずれも豊茂) 大野幸衛(天越) 徳田平八郎(戒川) (努力賞) 東正行(黒田) 西山基(今坊) 桑野哲敏(榊生) 兵多寅夫(須沢) 松本筆夫、増田成虎(いずれも豊茂) (参考品) 上田キヨコ、楠野康子(いずれも豊茂)
- この部の入賞(九点)
- (特賞) 上田諭(豊茂) (一等賞) 藤田純雄(豊茂) (二等賞) 中野富加(戒川) (三等賞) 武地喜佐雄(豊茂) 西村勉(天越) 徳山峰子(柴) (努力賞) 増田大洋(榊生) 水沼惟孝(出海) (参考品) 上田キヨコ(豊茂)
- この部の入賞(三十点)
- (特賞) 藤田坂喜(豊茂) (一等賞) 大成登功(豊茂) 宮本増憲、久保要子(いずれも戒川) 山下晃(柴) (二等賞) 加納勝利(須沢) 上野親(出海) 増田成虎(豊茂) 松田勝(戒川) 徳山峰子(柴) (三等賞) 水沼惟孝(出海) 岡本久子(上老松) 増本博之、西山和夫、坂井寛、永井久幸、菊地徹、

- 久保好明、坂井亨(いずれも豊茂) 清水満秋(柴) (努力賞) 村上興一(榊生) 小西竹男(須沢) 戒、上田虎雄、武地喜佐雄、藤田諾子、楠野孝行(いずれも豊茂) 大野幸衛(天越) 坪内幹夫(柴) (参考品) 藤田千代子(豊茂) 宮本スミカ(戒川)
- ほた木の部入賞(十一人)
- (特賞) 小西長幸(柴) (二等賞) 菊地徹(豊茂) (二等賞) 増田猪佐夫(豊茂) 菊地広毅(穂積) (三等賞) 加納勝利(須沢) 大成淳、増田成虎、(いずれも豊茂) 山本正(戒川) (努力賞) 上田虎雄、菊地生龜(いずれも豊茂) 久保貞夫(戒川)

長浜町選管

自治大臣から

長浜町選挙管理委員会(増田晴茂委員長)は、昨年の衆議院議員選挙に当り、一致協力して選挙の適正な管理と明るい選挙の推進に努力し、すぐれた成績(高い投票率など)をあげたことにより三月四日、八幡浜町事務所が開かれた明るい選挙推進協議会会長の席上、小川自治大臣から表彰されました。

清水保健婦

厚生大臣・読売新聞社長から

さる一月二十四日、読売医療功労賞の受賞者に選ばれた読売新聞社から同賞を受けたのは沖浦の清水文子さん(五五) 長浜町役場保健婦は、さらに全国でわずか十五人という中央表彰者の一人にも選ばれ四月二十四日、東京・日比谷公会堂で開かれた第二十九回世界保健デー中央大会の席上、渡辺厚生大臣から厚生大臣賞、務台読売新聞社長から読売新聞社長賞を受けられました。



印鑑証明書交付数 (51年度中)

7,789件
1日当り約21件
53年1月から証明のシステムが簡素化されます。その手続きは9月~12月まで受付。





「6月になった。麦秋である。」

こんな文章が昔の国語読本にあった。黄金色に輝く麦の穂波、いち早く鳴き立てる松蟬の聲に穢り入れ仕付けの忙がしさを一層かき立てられる風景がいつの間にか見られなくなりました ▲ 麦といえば小麦の地粉で打った昔の正真正銘の手打ウドンも姿を消してしまっ。手づくりの味にあやかって飲食屋に手打ウドンの看板はやたらとふえているが、いずれもにせ物の手打ウドン。30分もかけて手ごなしし、2時間近くも足で踏んで揮身の力で棒で延べ、うどん包丁でいねいに刻み、塩加減もよく大きな釜で、ゆだりバナを井の水にさっとゆすって大口のどへ流し込むまこと本物の釜あげウドンを味える人が今、日本中に何人いるだろう ▲ ここまでの努力のどれ一つを省いてもウドンの最高の味は得られはしない。これを商売で売るなら一杯5千円くらいはとらないと算用に合わぬだろう ▲ 手作り味が盛んに求められる時代、求めるなら徹底に求めてみたい気がする。難儀をせずに大きな利益をつかもうとするのが合理的な精神なら、手作りの味は非合理的な精神。しかし人間にはその両方とも必要な止むに止まれぬ欲望本能があるとはまことに面白いではないか。

人口世帯数

楽しく住みよい町、豊かで働きがいのある町
美しい人情と文化の町をつくり、人口をふやしましょう



	5月1日現在	前月との比較
人口	13,517人 (男 6,424人 女 7,093人)	25人減 (10人減 15人増)
世帯数	3,921世帯	8世帯増

「社協だより」を発刊
長浜町の「社会福祉協議会」、略して「社協」では町民の皆さん、すなわち会員の皆さんに、より社協の役割(仕事)についての理解を深めて頂き福祉活動の積極

団地名・棟・室番号お忘れなく!

団地の方への郵便物

長浜町にも町営、社協の団地住宅がしだいに増加していますが、団地住宅の入居者に郵便物を差出される時は団地名、棟、室番号を必ず書いてください。また、団地住宅入居者の方が郵便物を差出す場合にも、これらのあて名をはっきり書いて先方にお知らせしておくようにしましょう。これらのあて名が書かれていない差出人へお返しする郵便物が全国で一日六十九万通もあります。なお、引越の際には、郵便局へも転入の届けを。郵便受箱には家族全員の名前を書くようにしましょう。(長浜郵便局)

児童手当を受けている方へ

児童手当を受けている方は毎年六月中に「児童手当現況届」を役場へ提出しなければなりません。届けの用紙は役場本庁の受付および各連絡所にありますから、必要なことを記入して必ず期限内に出してください。



結婚



4月長浜町(役場届出分)(敬称略)
今月のトッポは伊達正利・小夜子さんのカップル

住所	氏名	婚姻届時年齢
長浜市	伊達正利	(三〇)
東予市	越智小夜子	(二七)
大洲市	藤田節子	(二七)
下須賀市	谷田美保子	(二五)
出羽町	垣見芳彦	(二五)
松浦	松岡房子	(二五)

住所	氏名	死亡時年齢
長浜市	紙本三保子	(五二)
長浜市	田中通広	(七二)
長浜市	永田クマヨ	(九七)
白滝	米来満野	(七七)
長浜市	宝来マツヨ	(六九)
長浜市	竹内マツヨ	(六四)
長浜市	大田常光	(七八)

おくやみ

4月届出分(敬称略)
今井 後藤 清一 五女さつき
沖浦 大田 利雄 長男 智次
長浜 鈴木 昭雄 二女 妙子
榑生 吉田 昭敏 二女 洋子
豊茂 増田 勝敏 二女 智子
榑生 山下 友和 長女 裕美
柴 二宮 幸則 長男 智彦
沖浦 二宮 等 長男 智彦
沖浦 山本 達夫 二女 亜希子
沖浦 横道 剛一 二女 さおり
豊浦 坂東 敏幸 長男 康幸
沖浦 坂東 敏幸 長男 康幸
今井 坂東 敏幸 長男 康幸
出羽 河地 正 二男 希
住所 保護者氏名 続柄 児名

お誕生おめでとう!!

4月届出分(敬称略)

ロデオオン十台(五万円相当)を出海小学校へ
メロデオオン三台(一万五千元相当)を出海小学校へ
○沖浦の清水文子さん(五四) : 「社会福祉のために役立ててください」と現金十万円を町へ
○白滝の愛媛南部ヤクルト(株)上崎ヤクルト販売店: 額縁一面(二万六千五百円)を白滝保育所へ
こととしたものです。本紙同様ご愛読、そしてご参加を。

編集後記

「ものごと、初めと終わりが肝心」ということがあります。本紙の終わりを飾るものといえば、やはりコラム「長浜風」。そのコラムは「執筆担当者」として七年間筆を振るって頂いた増田晴茂さんが約三十年間におよぶ宮仕にピリオドを打ち助役を退任されたこと、編集室では目下、後任のコラムとは「広辞苑」によれば「短評」「有名筆者の時事評論」とありますが、俗に「かゆいところ」に手が届く記事」ということで、それだけにコラムには高度な判断力と文才が要求されます。昭和四十五年四月以来、本号で七十八筆目。長きのご愛読を筆者とともに厚く感謝いたしますとともに、七十九筆目がお届けできるよう努力を払いたいと思います。